

着ける、魅せる、繋ぐ。
オリентスターが秘めた
「3つのよろこび」



緻密な作り込みと優れたデザインをまとった
実用的な腕時計が登場

1951年の誕生以来、コアな腕時計ファンはもちろん、本格的機械式として多くの人から支持を集めている『オリентスター』。卓越した職人たちが手作業で作り出すムーブメントは、クラスを超えた高精度に加え、見るものに喜びを感じさせる美しさも兼ね備えている。そんなオリентスターに今シーズン、新たな顔を持ったモデルが加わった。

文／松尾直俊 写真／瀬浅立志

腕時計の本質は時を知らせること。素早く時間を視認できなければならない。そこで、レンズには視界の歪みを防ぐ両球面サファイアガラスを採用。分針の先端は分目盛まで届くよう、職人の手作業で緩やかにカーブが付けられている。

群青色の夜空をバックに、黄金色の月が優しく光るムーンフェイズ機構の月齢車。ブランド名が配置されたパネルには、日本古来の菱形模様が施され、引き継がれてきたおなじみのOSマークが型打ちされている。



リュウズは指先での操作性を考慮した菊型デザインで、側面にはオリентスターのOSマークを凸刻印、造形美と機能性を融合させている。その横に配置されたプッシュボタンを付属の専用器具で押すことで、月齢を調節できる。



感性に訴えるデザインと 高精度を両立させた 「46系 F7」ムーブメント



46系 F7



従来の46系

M o v e m e n t

その美しさで定評のあった46系ムーブメントが、さらに“魅せること”にこだわり、進化したのが46系F7。細部には、パーツ別に異なる研磨模様が丁寧に施され、ルビーの赤とネジの青色が、その仕上がりに一層の華やかさを加えている。パーツを磨くと落ちてしまいがちな精度も、従来の46系が日差+25秒〜+15秒であったのに対し、46系F7では+15秒〜5秒にまで高められている。

メタルバンドのバックルには、着脱しやすい実用性とドレッシーなデザイン性を兼ね備えたプッシュ観音式を採用。装着時に厚みが増さないので、スマートな見た目になり、周囲に引っ掛けることも少ない



機

機械式腕時計は、高い精度で時を刻むと同時に美しくなければいけない。そんな思想を具現化したモデルが、46系F7ムーブメントに月齢機能を搭載したメカニカルムーンプフェイスだ。

40時間のパワーリザーブインジケータにテンプ部のセミスケルトン、そして美しい月齢機能の組み合わせは、国産機械式としては希少であり、世界的に見ても珍しい存在だ。晴れた夜の月の周りに現れる光の環からの連想でコインエッジを採用し、インデックスもローマ数字を配置。また、型打ち模様の細かい細工が施されたダイヤルには、視認性の良さと同時に気品ある美しさまで醸し出している。目を向けるたびに愛着が増す、そんな一本だ。

メカニカルムーンプフェイス RK-AM0004B

18万3600円

ケースやバンドには、耐食性が高いSUS316Lと呼ばれるステンレススチールを採用。5気圧の日常生活用強化防水仕様になっている。シースルーバックなので、美しく加工された回転錐の動きを見ることが可能だ。自動巻き(手巻き付き)



セミスケルトン RK-HH0004B

14万400円

セミスケルトンでは、美しいフェイスデザインの一部を構成する小窓から、腕時計の心臓部、ムーブメントのテンプの動きを見ることができ、今まさに時が刻まれている実感を味わうことができる。これぞ機械式時計の醍醐味と言えるだろう

Other Color



メカニカルムーンプフェイス RK-AM0005S

18万3600円

使う人の好みや装いに合わせるために、ホワイトダイヤルモデルも用意されている。ケース径41mmで厚み13.8mm、バンド幅20mm、月齢修正器具の付属というスペックは共通。ノブ的な趣と知性を感じさせるデザインに仕上がっている

ムーンプフェイス機能



新月

満月

新月

29.5日周期

新月から次の新月までの周期は29.5日。そのため、メカニカルムーンプフェイスの46系F7ムーブメントには、二つの月を描いた59日間一周する専用月齢車と、それを駆動するための特別な機構、歯車を搭載。また、センターから伸びる針は、外周に刻まれた数字を指して日付を示すようになっている。オリエンタスターが培ってきた、精緻で高い技術が惜しみなく盛り込まれている。

時を刻む脈動を美しさに変えた
匠の技を腕に巻く



スケルトン RK-DX0001S

25万9200円

39mmのケースサイズでありながら、細い縁がフェイスを広く見せ、スケルトンの美しさを引き立たせている。球面サファイヤガラスと青色の時分針が視認性を高くし、一目で時刻が読み取れる。手巻き、日常生活用強化防水（5気圧）。50時間パワーリザーブ

Other Color



スケルトン(左) WZ0031DX

27万円

(右) WZ0041DX

25万9200円

機械式時計の高度な技術をありのままに眺めることができる、オリентスターの顔、スケルトン。昨年登場し、好評を博したゴールド仕上げのムーブメントモデルも、継続して発売されている



オ

リエントスターに搭載されている46系と呼ばれるムーブメントの数字は、昭和46年

——つまり1971年にその原型が開発されたことを意味している。70〜80年代は日本の時計メーカーが、その主力をクォーツへとシフトしていった時代。その中であつてもオリентスターは機械式時計にこだわり、これまで地道に作り続けてきた。

そんな46年もの年月を経て進化してきた機械式時計の駆動技術が、つづきながめられるのが、スケルトン。その新顔がシルバームーブメントの「RK-DX0001S」だ。

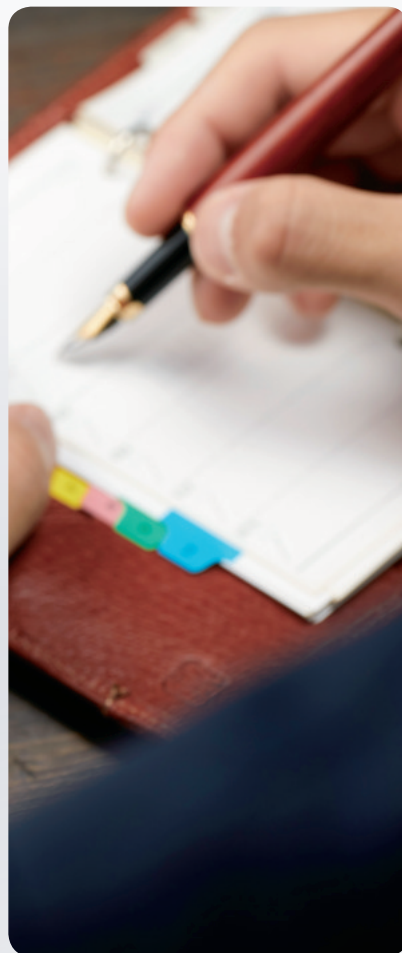
その仕上がりは、高度なムーブメント作りを継続してきたオリентスターならではの技術の結晶。新たな代表的モデルの誕生と言つても過言ではない。

たとえばご覧の歯車が駆動するその様子は、着ける人に時計との一体感を与えてくれる。それは、腕時計を着けるよろこびを一層深く感じさせてくれることだろう。

細部を見ればさらに深まる。12時と6時に配置されたローマ数字のインデックスは、クラシックの中にドレッシンな印象をプラス。また、両面シースルーにするために細く削られた各パーツ類には、さらに精緻で美しい削り模様があり、それでも日差+25秒〜-15秒を実現しているのは、匠によるノウハウの継承によるものだ。

その絢爛さから技モノ、特別な一本という印象をもあるが、シルバーというカラーが、日常での使いやすいさを与えてくれるのも見逃せない。

ビジネスシーンでは細かく時間をチェックすることが多い。そんな時、スポーティーな中にエレガントな雰囲気を持ち、視認性も良い腕時計ならば使い勝手が良い。ビジネスパートナーにも好印象を与える



軽量のチタンとドレスシーなモダンスケルトンが演出する 新・エレガンス

モダンスケルトン RK-DK0003B

8万9640円

14年の発売以来人気を集めているモダンスケルトンの新色。黒いベゼルにブルーのパッキンとパワーリザーブインジケータが、フェイスを引き締める。日常生活用強化防水(10気圧)。自動巻き(手巻き付)、シースルーバック



チタン RK-AF0001B

13万5000円

ビジネスでもプライベートでもマッチする、スタンダードモデルの新色。OSマークと金色の秒針がさりげないアクセントに。ケースとバンドに軽く堅牢なチタンを採用。日常生活用強化防水(10気圧)。自動巻き(手巻き付)、シースルーバック

ビジネスシーンの装いにマッチし、精悍な手首周りを演出することで人気を集めている「モダンスケルトン」と「チタン」の2モデルに、トレンド感溢れる新色が追加された。この2モデルは、定番のブラックダイヤルがベース。そこにオリエンタスターのアイコンでもあるパワーリザーブインジケータと、ブラックベゼルに差し色のブルーパッキンを組み合わせることで、より都会的で洗練された印象に仕上げられている。

「ソンの日常使いの一本として重宝すること間違いなし。」チタンモデルはシンプルでスポーティーな印象を演出するのに最適。一方のモダンスケルトンは、都会的なデザインの中に、さりげなく機械式時計であることを主張するルビーの赤色が印象的。一部にスケルトンを加えることで、エレガントとこだわり感を醸し出している。

英国伝統色をイメージしたカラーをまとい 世界へ渡る日本の腕時計



モダンスケルトン数量限定モデル

(左) RK-DK0001L 8万6400円
国内限定 1000 本(世界限定 2000 本)
ダイヤル色: スコティッシュグリーン×ネイビー

(中) RK-DK0002L 8万4240円
国内限定 800 本(世界限定 2000 本)
ダイヤル色: ティーフグリーン×ロイヤルネイビー

メタルバンドタイプは、明るめのグリーンとネイビーのコンビネーション。12時のインデックスはジャケットの金ボタンをイメージ。革バンドのモデルは、ピンクゴールドのインデックスと時分針に加え、赤の挿し色がアクセントに

セミスケルトン数量限定モデル

(右) RK-DA0001L 7万5600円
国内限定 500 本(世界限定 1000 本)
ダイヤル色: スコティッシュグリーン×ネイビー

深いネイビーのダイヤルに、分目盛りとパワーインジケーターにはグリーンを配色、ルビーの赤がワンポイントのアクセントになっている。実は皮革バンドの裏材にはダークグリーンを採用し、遊び心もしっかり演出している

いる。そんなカラーアレンジを施されたのが、モダンスケルトン2モデルと、セミスケルトン1モデルだ。決して派手に主張するのではなく、時計の各所にさりげなく配された伝統色が、程良い落ち着きと、遊び心を演出するような仕上がりになっている。

そう、そんなカラーアレンジを施されたのが、モダンスケルトン2モデルと、セミスケルトン1モデルだ。決して派手に主張するのではなく、時計の各所にさりげなく配された伝統色が、程良い落ち着きと、遊び心を演出する。そんなカラーアレンジを施されたのが、モダンスケルトン2モデルと、セミスケルトン1モデルだ。決して派手に主張するのではなく、時計の各所にさりげなく配された伝統色が、程良い落ち着きと、遊び心を演出する。

ベースとなるのは「ブラックウォッチ」。ただしこれは、黒い腕時計という意味ではない。ネイビーの地にグリーンとブラックを配色し、それらが織り重なり深みのあるグラデーションを描き出す、スコットランドの伝統的なチェック柄のこと。もとは1700年代に活躍したスコットランドの軍隊、ハイランダー連隊の戦士たちが着用したと言われ、黒い見張り役という意味を持っている。

それは従来からのイタリアンスタイルに加えて、ブリティッシュユトラッドのテイストを取り込むという傾向が強く出てきている。その流れを受け、オリエントスターにもブリティッシュユトラッドにインスパイアされたカラーリングの限定モデルが登場した。

そ

れほど大きな変化が見えないように思えるメンズスーツのスタイルにも、実はトレンドがある。

世

界各国で高い評価を得ているオリエントの「サン&ムーン表示機構付きモデル」のフェイスデザインがリニューアルされて登場した。

従来モデルでは、11時位置にあった太陽と月の表示を5時に、3時位置だった曜日表示を10時位置に変更。また、手巻き機能、秒針停止機能が付いたことで、より普段使いし易いモデルに仕上げられた。

全体的にクラシックで落ち着いたデザインながら、太陽と月による昼夜表示がモダンなエッセンスとなっている。

ダイヤルは繊細な型打ち模様を施した3層構造。立体的な造りが奥行きを出し、時計自体の存在感を高めるとともに、視認性を良くすることに對しても一役買っている。グローバルに展開するオリエントブランドの中の1本だ。



日中は時間に合わせて太陽が昇り移動していき、夕方から夜にかけては、月が顔を出し、そして沈んでいく。このユニークなギミックが、世界中で人気を得ている。遊び心を忘れない人に身に付けてほしい、大人の腕時計だ

『太陽』と『月』が新しい顔に生まれ変わった



Other Model



サン&ムーン表示機構付きモデル
レディース
RN-KA0001A

3万4560円

新たにレディースアナログクォーツモデルがラインナップされた。男性用をそのまま縮小するのではなく、白蝶貝や型打ちを使ったフェイスや、太陽と月の表示も新たにデザイン。ボルドーの革バンドにピンクゴールドの組み合わせの華やかなモデルもある。ヘア使いにおすすしたい

サン&ムーン
表示機構付きモデル
RN-AK0005S

5万4000円

ローマ数字のインデックスやリーフ状の針がクラシックな雰囲気を演出している。球面サファイアガラスを採用しているため反射が少なく、細い針でも一目で時刻が読み取れる。自動巻き(手巻付き)、シースルーバック。日常生活用強化防水(5気圧)